

2020 年度 校内研究の全体計画について

1 研究主題

考えを伝え合い、広げ深めるための学習指導の工夫（2 年次）
～自ら学び続ける児童の育成を目指して～

2 主題設定の理由

今回の学習指導要領の改訂では、これまでの「生きる力」を育むことを基に、新しい時代に必要となる必要となる資質や能力を育成することをねらいとしている。学びに向かう力や人間性等の涵養、生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成を目指しており、未来や社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが求められている。

本校は、児童数 86 人、学級数 8 クラスの小規模校である。素直な児童が多く、落ち着いて学習に取り組むことができる。与えられた課題に対しても真面目に取り組むことができる。昨年度の校内研究で、考えを伝え合うための話し合い活動や、自分の考えを表現する書く活動に力を入れて、主体的に学ぶ姿勢がみられるようになってきた。しかし、自分なりの考えを持ち、伝え合うことはできるようになってきているが、活動の中で考えが深まり、広がり、自分たちで解決するまでには至っていない。

県学習状況調査の結果を見ると、5 年生も 6 年生もすべての教科で、県平均正答率を上回ってはいるものの、問題の意味や、何が問われていることが理解できず、正答条件を満たす適切な答えを書けない児童も多くいた。

以上のことにより、「文章を正しく読み取り、問われていることに対して的確に表現する力」「児童同士が主体的に関わり協働しながら解決していく力」を育成することが、本校の課題と考える。そこで、本年度も、国語科の「読むこと」の領域において、自分の考えをしっかりとまとめさせるための「書く活動」と、児童同士が考えを交流しながら理解を深めさせるための「話し合い活動」を、授業の中でどのように仕組んでいくのかについて引き続き研究を進めていきたい。指導する教師が教材分析、教材研究を行い、書く活動や話し合い活動の意図・ねらいをしっかりと持ち、考えを伝え合い、比べたりまとめたりする話し合い活動をより意味あるものにしていく授業改善をめざす。

3 主題について

（１）「考えを伝え合い、広げ深める」とは…

- ① 課題に対して、自分の考えを適切に表現できる力を身に付けること
- ② 目的に沿って、他者の考えにも目を向けながら、話し合うこと

（２）自ら学び続ける児童とは…

学び方を身に付け、課題に対して、見通しを持って、意欲的に学習に取り組む児童

4 研究の目標

自ら学び続ける児童を育成するための、「書く活動」と「話し合う活動」を効果的に位置づけた授業改善をめざす。

5 研究の仮説

「読むこと」の領域において、児童が自ら考え表現するための「書く活動」と「話し合う活動」を位置付けた学習活動を行えば、主体的に学ぼうとする児童が育つであろう。

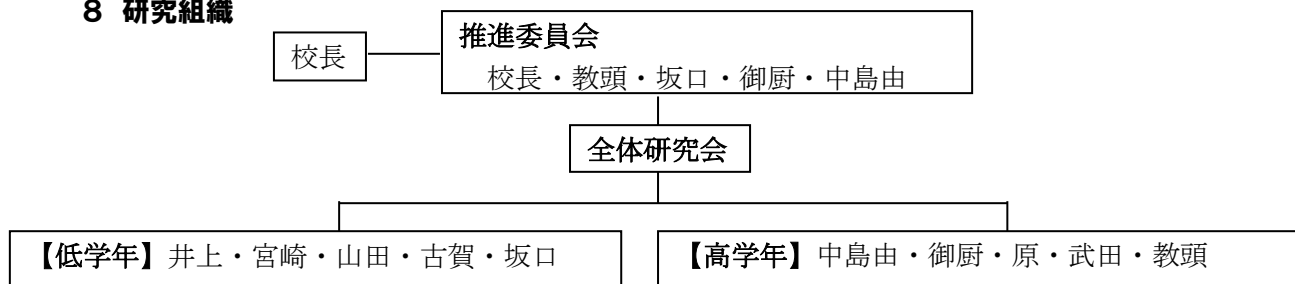
6 研究の内容

- (1) 「授業づくりのステップ」を基にした指導過程を考えて、児童が見通しをもって主体的に取り組めるための授業を行う。
 - ① めあての設定
 - ② 書く活動の工夫
 - ③ 話し合い活動の活性化
 - ④ ふり返りの視点
 - ⑤ 有効な発問
- (2) 実態調査を行い、児童の学習に対する理解・意識の変化を把握する。
- (3) 学習習慣を身につけさせるために以下のことを日常的に取り組む。
 - ① 有田っ子スタイル
 - ② 朝読書
 - ③ 国語・算数タイム
 - ④ 読書の日（ノーテレビ・ノーゲームデー）
 - ⑤ 暗唱・音読集会
 - ⑥ おすすめの本
 - ⑦ 家庭学習の充実

7 研究の方法

- (1) グループ研による教材分析や単元計画等の事前研究
- (2) 指導案検討・模擬授業・事前授業・発問の検討
- (3) 文献及び、講師招聘による理論研究
- (4) 「有田っ子スタイル」の実践と改訂

8 研究組織



9 研究計画

月	内容	月	内容
4	研究テーマ・教科の確認・講師依頼 22日：第1回 ・研究主題・仮説・内容等提案 ・年間計画提案	10	21日：第10回 ・研究授業③（2年） 「おてがみ」 28日：第11回 ・事前研究④（1年指導案検討）
5	13日：第2回 ・研究主題・仮説・内容再提案	11	13日：第12回 小中連携授業参観 ・研究授業④（1年） 「じどうしゃくらべ」 －講師招聘－ 25日：第13回 ・事前研究⑤（3年指導案検討）
6	6日：第3回 ・指導案の書き方・グループ研究 24日：第4回 ・研究計画について	12	2日：第14回 ・研究授業⑤（3年） 「三年とうげ」
7	1日：第5回 ・事前研①（6年指導案検討） 9日：第6回 ・研究授業①（6年） 「やまなし」 －講師招聘－	1	6日：第15回 ・事前研究⑥（5年指導案検討） 27日：第16回 ・研究授業⑥（5年） 「想像力のスイッチを入れよう」 －講師招聘－
8	20日：第7回 ・事前研究②（4年指導案検討）	2	17日：第17回 ・ふり返りアンケート ・CRT 分析 24日：第18回 ・校内研究まとめ
9	23日：第8回 ・研究授業②（4年）「一つの花」 30日：第9回 ・事前研究③（2年指導案検討）	3	10日：第19回 ・次年度の研究テーマの検討

※なかよし1組・2組・3組、指導教諭も授業を公開し、事後研究会を適宜行う。

2020年度 校内研究構想図

学校教育目標

ふるさとを大切にする、たくましい有田っ子の育成

研究主題

考えを伝え合い、広げ深めるための学習指導の工夫（2年次）
～自ら学び続ける児童の育成を目指して～

研究の目標

自ら学び続ける児童を育成するための、「書く活動」と「話し合う活動」を効果的に位置づけた授業改善をめざす。

研究の仮説

「読むこと」の領域において、児童が自ら考え表現するための「書く活動」と「話し合う活動」を位置付けた学習活動を行えば、主体的に学ぼうとする児童が育つであろう。

研究の内容

教師の授業力向上

考えを伝え合い、広げ深めるための学習指導の工夫

- ①【めあての設定】 ②【書く活動の工夫】
- ③【話し合い活動の活性化】 ④【ふり返りの視点】
- ⑤【有効な発問】

自分の考えを書く活動

児童の実態・具体的な書き方・必要な条件

対話的な学習活動

目的・進め方・話し合う意欲
交流・共有・整理

家庭や中学校との連携

学習習慣定着のための取組

- ①【有田っ子スタイル】 ②【朝読書】
- ③【国語タイム・算数タイム】 ④【ノーテレビノーゲームデー】
- ⑤【暗唱】 ⑥【おすすめの本】
- ⑦【家庭学習の充実】